

第3章 課題の整理

令和3年度に作成した基本構想では、対象地の開発コンセプトを「スポーツツーリズム」とした上で、目標に『「健康」をつくり「未来」を創る新たなサンライズエリア』を掲げ、対象地ごとの基本方針を設定した。

本章では、上記の基本方針を基本計画に具体化していく際の課題について、前章までの内容を踏まえて整理する。

表：基本計画の具体化に向けた課題の整理

課題	<p>【スポーツツーリズムの具体化】</p> <p>○上位関連計画では、東海岸地域において、トップアスリートの練習にも対応可能な機能を有する施設整備や、プロスポーツチームの合宿、学生・社会人におけるクラブ活動の誘致など、長期滞在型の多様なスポーツツーリズムの実現に向けた施策展開を図ることが、位置付けられている。</p> <p>○周辺市町村にはスポーツ合宿を受け入れた実績のある各種競技場や、ビーチやマリナーといった自然を活かした施設など、スポーツツーリズムの推進に寄与すると考えられる資源がある。</p> <p>→上位関連計画で実現を目指すスポーツツーリズムの展開の一翼を担うため、周辺市町村と連携し、地域の資源を活かしたスポーツツーリズムを具体化する必要がある。</p>
	<p>【世の中の潮流を踏まえた幅広い将来像の実現】</p> <p>○アフターコロナやSDGs、脱炭素、DX等といった世の中の潮流の中で、心身の健康の維持促進（ウェルビーイング）やスポーツに最新のテクノロジーを組み合わせ発展させる考え（スポーツテック）といった概念も生まれている。</p> <p>○上位関連計画においてもDX等を促進する取組の推進を掲げている。</p> <p>→このような状況を踏まえて、導入機能を検討する必要がある。</p>
	<p>【町が進める施策との連携】</p> <p>○マリンタウン地区を対象に、次世代につながる持続可能なまちを創っていくため、また、新たな産業創出などの経済効果を生み出すため、脱炭素先行地域の選定が決定した。</p> <p>○マリンタウン地区は、津波浸水や高潮浸水が想定されており、津波避難ビルを増やす取組を行っている。</p> <p>→公有地活用の際には、これら町が進める施策への貢献の可能性を検討する必要がある。</p>
	<p>【独立採算事業での民間参入の可能性】</p> <p>○スポーツや健康に関する施設は、民間施設のみでなく、公共の役割を担う施設もある。</p> <p>○本町のスポーツ関連施設、観光施設の利用者数及び、イベントへの来場者数は、新型コロナウイルスの影響を受けている。</p> <p>→このような状況の中で、民間事業者による独立採算事業の可能性を、サウンディング調査を通して把握する必要がある。</p>
	<p>【次年度に予定している本公募への参加可能性】</p> <p>○大型MICE施設は、東海岸地域及びマリンタウン地区における大型プロジェクトであり、大型MICE施設の動向は、民間事業者の参加意向に大きな影響を与えるものである。</p> <p>→現状、大型MICE施設の整備時期が明確でない中で、次年度に本公募へ民間事業者が参加する可能性をサウンディング調査において確認する必要がある。</p>
	<p>【対象地間の連携によるエリア価値の向上】</p> <p>○本事業の対象地は、分散配置されている。</p> <p>○本事業の対象地周辺は、既にまちが形成されている。</p> <p>→その中で、利活用の効果を最大限に発揮するためには、分散配置されている対象地を包括的にマネジメントし、エリアの価値を高める取組を行うことが必要である。</p>